① 人間生活学研究科（心理）　2025年度

② 入試区分

人間生活学研究科博士前期課程（Ⅲ期）

③ 出題科目

英語

④ 出題の意図

心理臨床においては、発達障害に関する知識を身につけるだけでなく、関連施策を理解することも必要である。本問では、これらを包括的に説明した英文を提示し、現行の発達障害に関する施策の問題点と新たな支援施策の方向性を読み取り、それを論理的に説明することを求めて出題した。

受験番号	氏　　名

2025年度Ⅲ期　人間生活学研究科心理学専攻（臨床心理学コース）博士前期課程
入学試験問題（英語）

次の文章を読み，以下の４つの設問に答えなさい。

著作権の関係により、公開しません。

受験番号	氏　　名

2025年度Ⅲ期　人間生活学研究科心理学専攻（臨床心理学コース）博士前期課程
入 学 試 験 問 題　　解 答（ 英 語 ）

問１．下線部①には、こども家庭庁が５歳児健診の普及に向けた取組の推進を図る方針を打ち出したこと及びその理由が記載されている。下線部①から５歳児健診の目的を記載した一文を抜き出して日本語に訳し、回答欄に記載しなさい。

問２．以下の問いに答えなさい。

１　本文から、以下の言葉に当たる英語を抜き出し、（　）内に記載しなさい。

自閉スペクトラム症：（　　）
注意欠如・多動症　：（　　）

２　本文においてこれらの障害が何に起因するとされているか、最も適当な番号に〇をしなさい。

① エピジェネティクス　　② 乳幼児期の養育環境　　③ 脳の機能

問３．下線部②は、５歳児健診が必要な理由を、現行の健診における問題に言及した上で述べている。以下の１及び２の健診の問題点として挙げられている事項をまとめ、解答欄に記載しなさい。

1　３歳児健診

2　入学前健診

問４．下線部③日本語に訳しなさい。